

房総・三浦地質研究サミット

地質学会関東支部
『地質研究サミット』シリーズ

日本地質学会関東支部は、『地質研究サミット』を開催します。関東地方の地質に対して鋭い斬りこみをかけている各研究グループの中心メンバーが一堂に会してホットな研究成果を発表するとともに建設的な議論を行い、関東地方地質研究の新展開を図ります。シリーズ1回目は、三浦・房総半島です。

*『地質研究サミット』は、全国に開かれたものとして運営されています。

期日：平成25年3月9日（土）・10日（日）

場所：千葉県立中央博物館（千葉市中央区青葉町955-2）

対象：日本地質学会員および一般の方

（参加申込不要；参加費無料；要旨集1,000円予定）

主催：日本地質学会関東支部

共催：千葉県立中央博物館，協力：横須賀市自然・人文博物館

協賛：(株)地圏総合コンサルタント，(株)ダイヤコンサルタント

石油資源開発(株)，国際航業(株)，川崎地質(株)，アジア航測(株)
(株)東建ジオテック

3月9日（土）

9：30- 受付

10:00-10:05 開催あいさつ

10:05-12:00 セッション1 房総・三浦半島の地質：全体像 前半

12:00-13:00 昼休み

13:00-14:00 セッション1 房総・三浦半島の地質：全体像 後半

14:00-14:40 セッション2 沿岸—浅海地質調査のすすめ

14:40-15:00 休憩

15:00-17:00 セッション3 房総・三浦の地殻大構造

17:00-17:30 ポスター紹介およびポスターコア

17:30-18:00 第1日目総合討論

18:00-20:00 懇親会

（博物館内喫茶「あおば」一般3,000円
学生1,500円 当日受付可）

3月10日（日）

9：30- 受付

10:00-12:20 セッション4 葉山—嶺岡帯解明の今日的意義

12:20-13:20 昼休み

13:20-14:20 博物館展示見学

14:20-16:20 セッション5 防災・減災最前線としての房総・三浦

16:20-17:00 総合討論

問合せ先 千葉県立中央博物館

電話 043-265-3111

メール takahashin@chiba-muse.or.jp

担当 高橋直樹